

ユーザーは語る

今回のレポーター
抗菌衛生クリーニング
いけざわ
池澤昇代表（栃木県大田原市）

シワの伸び格段に違う 成型も楽ちん

作業服は手直し不要で一律の品質

先代が心掛けてきた「汚れを落とし、丁寧に仕上げ、渡す」を受け継ぎ、喜ばれる技術・サービスの追求に邁進しているのが、抗菌衛生クリーニングいけざわ(栃木県大田原市)の二代目、池澤昇代表。洗いの差別化にオゾンを取り入れたウエットを導入。仕上げは時間がかかっても最後まで手を入れるほど品質、つくりにはこだわりを見せる。唯一、ウエット後の仕上げで手直しの多さを気にしていたが、ワイエイシイ(株)(東京都昭島市)の人体フォーマー「YJK-015A(アーム付)」で一気に解消できたと言います。導入に際しては展示会にウエットした背広10着以上を持ち込み、3社の製品を試した末に決めた程。導入前は割に合わない手仕上げもあったが、それもなくなくなった。

抗菌衛生クリーニングで修行した後、二代目といけざわは1964年の創業、今年で50周年を迎える老舗の一つ。創業から受け継いだ「汚れをきっかけは「先代の父が渡すのが洗濯屋の努め」クリーニング店だった」と池澤代表。自身も東京

うになることを目指し、いけざわは1964年の創業、今年で50周年を迎える老舗の一つ。創業から受け継いだ「汚れをきっかけは「先代の父が渡すのが洗濯屋の努め」クリーニング店だった」と池澤代表。自身も東京



シワの伸びに加えて「成型も楽」と池澤代表



人体フォーマー(YJK-015A・アーム付)で「作業性が格段に変わった」



フティック風の店内(外観も)は利用客から好評

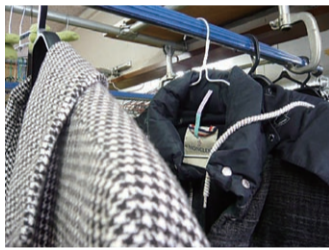


ヌメ革を得意とする「レザーケア」も高い支持を得る

池澤代表は「特に、ウエットした品物に関してはシワの伸びがぜんぜん違う。また成型も楽」。今回の仕上げ機導入後の工程としては、ウエット後、成型するために人体にかけてから自然乾燥。最後に仕上げでまた人体にかけるが、それでも導入前より作業時間は減った。

決め手ウエット品の仕上がりが試した中で一番

工場内にマッキントッシュ、モンクレールが並ぶ



工場内にマッキントッシュ、モンクレールが並ぶ

機械を導入するにあたっては「展示会で仕上がりの良さを徹底的に確認した」。ウエットした背

革のメンテナンスには力を入れていた。オゾンウエットも、そもそもレザー製品の靴やバッグを洗う目的で設備した。銀面は全国に多々あるが起毛に自信があるところは限られてくるし、ヌメ革を得意とするのはもっと限られてくる。そこから起毛素材とヌメ革を追求。自信を持ってオゾンできる技術として商品化した。

広10着以上を持ち込んで確認した程で、会場にあった3社の製品をそれぞれ試した中で「シワの伸びであったり、立体的な形で仕上がる感じが一番良かったことが決め手となった。また作業服も仕上げるためにアーム付

寄せられるなど熱い支持を得ている模様だ。同店を特徴づけるメニューの一つが、オゾンを取り入れた水洗い(オゾンウエット)。汚れ落ちへのこだわりと品物に対するダメージが少ない2つの利点から導入した。普通ウエットとの違いについて、池澤代表は「水道水との決定的な違いは浸透力。浸透力に優れたオゾン水だと短時間で処理できる。それと汚れ落ちの違いですね」。ウエット仕上げについては、丁寧な仕上げがへ

のこだわりから、自然乾燥させてから他社製のスチームボックス(人体付き)に入れ、最後は必ず手で仕上げている。ただし、ジャケットやコートなどの中にはウエットのシワが伸びきらずに手直しが必要な品物も。「特にパーバリーの綿のコートなどはウエットした後、かなり仕上がりに差が出ていた」。下手をする、手直しに1点20分、30分費やす場合もあり、「割にあわないと思いつつも職人根性で仕上げていた」。それが、導入した人体フォーマーによって仕上げ面が「格段に変わった」と言う。



顧客用PRカード

池澤代表は「1年後には新たな技術に進化しているよう、どんどん追求していきたいと思っています。他店からの問い合わせについても「何かしらの縁があれば対応していきたい」と快く話している(上のQRコードは顧客に渡すPRカードの一部から抜粋。サイトで情報が見られる)。

ウエット商品に対応

人体フォーマー YJK-015A

婦人物も可能!
(7号サイズ以上)

主な特徴

- ドライはもちろん、ウエット対応モードを搭載
- ヒーターの容量アップ(当社比)
- ニースイッチを廃止し、フットペダルと操作盤のみで操作性向上

☆肩、脇の微調整が可能で
小さな婦人物も
楽々対応



☆女性ブラウスから男性ロング
コートまで幅広く仕上げ可能

